

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立新陽小学校 第6学年 70名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間、道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	児童がオリンピックの経験や思いを聞き、夢をもつことの素晴らしさや、その実現に向けて、努力することの大切さを学び、自分の夢や希望への思いを深める。
5 取組内容	「infinity12年後へ ～夢を語り合おう～」 各学級で、オリンピック桧野真奈美さんの著書「ゆっくりあきらめずに夢をかなえる方法」をもとに、選手としての経歴や、アスリートとして、大切にしてきたことなどについて学習する。 ワークスペースに、桧野さんの紹介コーナーを設け、ボブスレー競技のルールや使用する用具の実寸大パネルを掲示し、理解を深めることができるようにする。 当日、児童は多目的室において、桧野さんの講話を聴く。質疑交流の時間も設ける。 講話を聴いた後に、教室で感想を記述し交流し、自分の12年後を見つめる学習へとつなげていく。 ○指導計画 [総合的な学習の時間]—3時間 「infinity12年後へ ～夢を語り合おう～」 [道徳]—1時間 「希望と勇気」 学んだことや感じたことを交流し、自分の夢について考える。夢の実現へむけて、大切にすることを学習する。

	今回の講話を通して、自己認識の必要性が高まり、児童は自分の可能性を信じるようになった。自分の人生観を意識する良い機会になったであろう。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・年間計画の中に早めに位置付けることができると、さらに効果的な学習を計画することができる。 ・オリンピックや札幌の歴史を学ぶ機会と考えると、外部団体との関わり方や学ぶ方向性などを再構築することができる。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。